

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	
		4/8~4/15	4/15~4/22
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.034
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.060
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.041
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.085
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.023
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.052
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.028
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.029

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	
		4/8~4/15	4/15~4/22
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.018
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

今回、観測された大気浮遊塵に含まれる放射性物質濃度は、セシウム137が平均0.03 mBq /m<sup>3</sup>と極めて低い濃度でした。過去3年以上の間、測定値は、ほぼ0.02~0.1 mBq /m<sup>3</sup>の範囲にあり健康影響という点で心配は不要ですのでご安心ください。

新型コロナウイルス感染予防のためのマスクが店頭から姿を消し、2ヶ月以上経っても入手が困難です。原発事故の後も必要な物資が不足しましたが、私も今できることとして、マスクを2枚作り、身を守り、マナーを守るようにしています。